

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	フェイシャルエステ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	藤井由美子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
エステティック機器の知識(肌別対応、使用方法、禁忌事項など)、技術の習得。フェイシャルトリートメントのステップアップを図ることで、肌別対応力、アドバイス力を身に付けることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
実習態度・実技テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
オリジナル資料						
《授業外における学習方法》						
イメージトレーニング・エステティックサロンのメニューリサーチ(雑誌、ホームページ、広告媒体誌、チラシなど)						
《履修に当たっての留意点》						
まずは、自分自身のお肌のケアから、肌に適したお手入れ方法を行うことで、どのように効果があるのかを実感してみて下さい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌のケア、肌に適した手入れ方法の全体像を把握できる		オリジナル資料	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーションと演習を行いながらの基礎知識の習得①			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌のケア、肌に適した手入れ方法の全体像を把握できる		オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	オリエンテーションと演習を行いながらの基礎知識の習得②			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング、フェイシャルオイルトリートメントについて身に付けることができる		オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	クレンジング→スチーマー、酵素パック→オイルトリートメント→吸引→仕上げ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング、フェイシャルオイルトリートメントについて身に付けることができる		オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	クレンジング→スチーマー、酵素パック→オイルトリートメント→吸引→仕上げ			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジングの種類と用途、エステティック機器の効果、注意事項、禁忌事項について身に付けることができる		オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	各ディープクレンジングの皮膚に対する効果、作用と注意事項、禁忌事項 エステティック機器(イオン導入、パター、超音波)の効果、作用と注意事項、禁忌事項			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジングの種類と用途、エステティック機器の効果、注意事項、禁忌事項について身につけることができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	各ディープクレンジングの皮膚に対する効果、作用と注意事項、禁忌事項 エステティック機器(イオン導入、パター、超音波)の効果、作用と注意事項、禁忌事項		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング(エレクトロクレンジング)とエステティック機器(パター)を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	クレンジング→エレクトロクレンジング→オイルトリートメント→パター→吸引→パック→仕上げ		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング(エレクトロクレンジング)とエステティック機器(パター)を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	クレンジング→エレクトロクレンジング→オイルトリートメント→パター→吸引→パック→仕上げ		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング(エレクトロクレンジング)とエステティック機器(パター)を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	クレンジング→エレクトロクレンジング→オイルトリートメント→パター→吸引→パック→仕上げ		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング(ピーリング)とエステティック機器(イオン導入)を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	クレンジング→ピーリング→イオン導入→オイルトリートメント→吸引→パック→仕上げ		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング(ピーリング)とエステティック機器(イオン導入)を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	クレンジング→ピーリング→イオン導入→オイルトリートメント→吸引→パック→仕上げ		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング(ピーリング)とエステティック機器(イオン導入)を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	クレンジング→ピーリング→イオン導入→オイルトリートメント→吸引→パック→仕上げ		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	お肌のケアから、肌に適したお手入れ方法を実践できる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	総復習①		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	お肌のケアから、肌に適したお手入れ方法を実践できる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	総復習②		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	お肌のケアから、肌に適したお手入れ方法を実践できる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	総復習③		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		薬業科		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		演 習	
科 目 名		フェイシャルエステ		必修/選択の別		選択		授業時数(単位数)		30 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限		後期		教室名			
担 当 教 員		藤井由美子		実務経験と その関連資格							
《授業科目における学習内容》											
エステティック機器の知識(肌別対応、使用方法、禁忌事項など)、技術の習得。フェイシャルトリートメントのステップアップを図ることで、肌別対応力、アドバイス力を身に付けることができる。											
《成績評価の方法と基準》											
実習態度・実技テスト											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
オリジナル資料											
《授業外における学習方法》											
イメージトレーニング・エステティックサロンのメニューリサーチ(雑誌、ホームページ、広告媒体誌、チラシなど)											
《履修に当たっての留意点》											
まずは、自分自身のお肌のケアから、肌に適したお手入れ方法を行うことで、どのように効果があるのかを実感してみて下さい。											
授業の方法		内 容						使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	ディープクレンジング(エレクトロクレンジング)とエステティック機器(パター)を習得することができる					オリジナル資料	イメージトレーニング		
		各コマにおける授業予定	クレンジング→スチーマー、軟化、吸引→イオン導入→オイルトリートメント→吸引→パック→仕上げ								
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌タイプ別コース選択に必要な、皮膚理論、解剖生理学を習得することができる					オリジナル資料	イメージトレーニング		
		各コマにおける授業予定	ホメオスタシスとは(自律神経、内分泌、免疫) 皮膚理論、解剖生理学								
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌タイプ別コース選択に必要な、皮膚理論、解剖生理学を習得することができる					オリジナル資料	イメージトレーニング		
		各コマにおける授業予定	ホメオスタシスとは(自律神経、内分泌、免疫) 皮膚理論、解剖生理学								
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌タイプ別のコース選択(化粧品、機器)の実際について理解することができる					オリジナル資料	イメージトレーニング		
		各コマにおける授業予定	カウンセリングシートを使って、肌に状態を確認し、コースの選択を行う								
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌タイプ別のコース選択(化粧品、機器)の実際について理解することができる					オリジナル資料	イメージトレーニング		
		各コマにおける授業予定	カウンセリングシートを使って、肌に状態を確認し、コースの選択を行う								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌タイプ別の施術後の肌の状態を確認することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	肌タイプ別コースのトリートメントを行い、トリートメント後の肌の状態を確認する		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	肌タイプ別の施術後の肌の状態を確認することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	肌タイプ別コースのトリートメントを行い、トリートメント後の肌の状態を確認する		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングシート、モデルへの質問などから肌トラブルの原因を探り、ホームケアアドバイスをを行うことができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	ホームケアアドバイス(生活面、食事、運動、スキンケアなど)		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングシート、モデルへの質問などから肌トラブルの原因を探り、ホームケアアドバイスをを行うことができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	ホームケアアドバイス(生活面、食事、運動、スキンケアなど)		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	正しいセルフケアを習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	セルフケア(クレンジング、洗顔、ディープクレンジング、ホームケア用機器、マッサージ)		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	正しいセルフケアを習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	セルフケア(クレンジング、洗顔、ディープクレンジング、ホームケア用機器、マッサージ)		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	フェイシャルトリートメントの一連の行程を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	ビフォーカウンセリング→コース選定→フェイシャルトリートメント→アフターカウンセリング		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	フェイシャルトリートメントの一連の行程を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	ビフォーカウンセリング→コース選定→フェイシャルトリートメント→アフターカウンセリング		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	フェイシャルトリートメントの一連の行程を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	ビフォーカウンセリング→コース選定→フェイシャルトリートメント→アフターカウンセリング		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	フェイシャルトリートメントの一連の行程を習得することができる	オリジナル資料	イメージトレーニング
		各コマにおける授業予定	ビフォーカウンセリング→コース選定→フェイシャルトリートメント→アフターカウンセリング		